

備前市事務事業評価表

| 事業の概要 | | コード | 03-02-03-06 |
|--------|-----------|------|---|
| 事務事業名 | 婦人協議会支援事業 | | 備前市補助金等交付規則 |
| 事業開始年度 | 平成17年度～ | | |
| 総合計画 | 大項目 | 基本目標 | 地域文化と人が輝くまちづくり |
| | 中項目 | 基本施策 | 生きがいのあるまちづくり |
| | 小項目 | 施策 | 成人教育（各種学級・講座の充実） |
| | | 問合せ先 | 担当課（室） 生涯学習課 職・氏名 生涯学習係長 福山哲明 電話 0869-64-1841 |

| 事業の実施 | |
|--------------------------|---|
| 対象（誰・何に対して） | 備前市婦人協議会・市内婦人グループ |
| 目的（何のために） | 備前市の婦人協議会に補助金を交付し、その活動を支援することにより、明るく住み良い地域社会の実現や公共の福祉の増進を目指す。 |
| 行政活動（どのような方法で） | 補助金の交付と事業支援、各種研修案内及び講座などへの参加の促進。 |
| 事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか） | 平成18年度に日生・備前両婦人会が合併し相互交流による会員数が増大した。市内の婦人活動を更に活性化し、官民協働のまちづくりを促進する。 |

| 事業の実績 | | | | | | | |
|----------|---------------------|---|------|-------------------------------------|----------|----------|--|
| 活動実績 | 実施項目 | | 単位 | 平成17年度実績 | 平成18年度実績 | 平成19年度実績 | |
| | 婦人協議会会員数 | | 人 | 400 | 600 | 600 | |
| | 生涯学習フェスタボランティア講座参加者 | | 人 | - | 41 | 51 | |
| | 事業費 | | 千円 | | | | |
| | 直接事業費 | | | 320 | 270 | 270 | |
| | 人件費 | | | 222 | 380 | 75 | |
| | 事業費計 | | | 542 | 650 | 345 | |
| | 財源 | | 千円 | | | | |
| | 国県支出金 | | | | | | |
| | 受益者負担 | | | | | | |
| 市一般財源 | | | 542 | 650 | 345 | | |
| 必要人員 | | 人 | 0.03 | 0.05 | 0.01 | | |
| 結果指標 | 結果指標名 | | 単位 | 平成17年度実績 | 平成18年度実績 | 平成19年度実績 | |
| | 備前市婦人協議会会員数 | | 説明 | 旧備前市支部、旧日生町婦人会の合併、吉永地域を含めた新備前市婦人会員 | | | |
| | 結果指標量 | 人 | | 400 | 600 | 600 | |
| | 対前年比 | % | | - | 150.0% | 100.0% | |
| | 活動コスト | 円 | | 542,000 | 650,000 | 345,000 | |
| 結果指標 | 単位当たりコスト | 円 | | 1,355 | 1,083 | 575 | |
| | 生涯学習フェスタボランティア講座参加者 | | 説明 | 人材養成講座兼生涯学習フェスタボランティア講座（H18～19）参加者数 | | | |
| | 結果指標量 | 人 | | - | 41 | 51 | |
| | 対前年比 | % | | - | - | 124.4% | |
| | 活動コスト | 円 | | | 38,000 | 37,500 | |
| 単位当たりコスト | 円 | | | 927 | 735 | | |

| 事業の成果 | | | |
|-------|----------|---------|-----------------|
| 成果指標名 | 婦人協議会会員数 | 式又は説明 | 補助対象となる婦人協議会会員数 |
| | 17年度 | 18年度 | 19年度 |
| 成果指標量 | 400 | 600.00 | 600 |
| 対前年比 | | 150.00% | 100.00% |
| 到達目標値 | 700 | 到達目標年度 | 平成21年度 |

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

| 事務事業の評価 | | (平成19年度事業) | |
|---------|---|------------|--|
| 目的 | <input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である（法律・政省令） <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している | 妥当性評価<A-E> | C |
| | 課題認識 | | |
| 行政活動 | <input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある | 市民ニーズ | 生涯学習の観点から、婦人協議会内のみならず、広くサークル活動、学習活動を行政主導ではなく婦人会主催で開催できるように支援し、一般婦人を積極的に勧誘した上で多くの備前市の婦人が加盟する団体とする。 |
| | 市の関与 | | <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である |
| 効率性の評価 | <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある | 効率性評価<A-E> | B |
| | 課題認識 | | |
| 職 | <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある | 市民参画度 | 平成18年度に合併統合し、「備前市婦人協議会」が発足。補助金も旧日生町婦人協議会へ交付していた額がそのまま新団体へ移行、市全体の婦人活動としての必要経費補助の認識も浸透、職員の関与も増えつつあり、19年度は人件費のコスト削減となった。 |
| | 目的達成度 | | <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している |
| 有効性の評価 | <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある | 有効性評価<A-E> | B |
| | 課題認識 | | |
| 市民参画度 | <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている | 課題認識 | 生涯学習課事業を中心に市の委員、男女共同参画事業、生涯学習フェスティバルボランティアへ積極的に参加してくれ、官民協働の行事に大きな成果をもたらした。大会運営や委員会委員としても活動のPR、さらに婦人会として組織の拡大を図る。 |

| 平成20年度の状況 | | 説明 | 新組織発足後の補助金減という厳しい条件のもと、生涯学習のまちづくりには大きな貢献をもたらしているため、20年度も継続して積極的関与をしていく。備前市婦人協議会のみ対象事業とするのではなく、広く市内婦人対象の行事を設けてもらい、婦人活動のすそ野を広げる。 |
|---|--|-------|--|
| <input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している | <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了 | | |
| 目標値 | 結果指標量 700 | 結果指標量 | - |
| 成果指標量 | 700 | 結果指標量 | - |

| 総合評価 | | 評価区分<A-E> | B |
|--|--|-----------|---|
| 平成18年度に日生町婦人協議会と備前エプロンの会（県には「備前市支部」として加盟）が統一組織「備前市婦人協議会」として発足。19年度実施の全国生涯学習フェスティバル・人材養成講座にはボランティアとして40名前後の協力を得て、官民協働のイベントとしての実施に大いに貢献していただいた。また市の各種行事・委員会への協力も惜しまないものがあり、自主運営にも期待が持てる。但し、総会や市民婦人講座などの事務処理については協力が必要と考える。 | | | |

| 平成21年度以降の方向性 | | 説明 | 平成20年度で真正・完了 |
|---|---|----|--------------|
| <input type="checkbox"/> さらに重点化する（行政資源を集中的に投入する） <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する | <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する | | |

| 平成21年度以降の改善事項 | | | |
|---------------|---------------------------------------|------|--------------------------|
| 評価の視点 | 改善内容 | 改善時期 | 改善により期待される効果 |
| 有効性 | 広く一般婦人対象の講座実施への援助も対象とする。但し補助金の範囲内とする。 | 21年度 | 市内婦人活動の活性化と会員のすそ野を広げるため。 |